

AIでつくる、
わたしたちのよりよい未来



ハッカソン詳細ホームページはこちら



がんサバイバーシップのための

AI ハッカソン

AIを介してアイデアを形にする新しい研究開発のかたち

参加費無料！

学生・社会人・AI初心者
どなたでも
大歓迎！



がんとともに生きる
未来を支えるアイデアを形に



AIやデータの力で
社会に役立つ体験を



医療・リハビリ・看護・
情報・一般の方など
どなたでも参加OK！

2026

9.12 土

13:00 ▶ 17:00 (予定)

場所

国立がん研究センター 会議室

開催方法

現地参加 または オンライン (聴講のみの参加も可)

申込締切

8月28日(木) 17時までにお申し込みください

プログラム (予定)

好評につき9月4日(金)まで延長！

13:00~13:10



開会の挨拶 本ワークショップの目的と流れを紹介します。

13:10~14:00
(終了後休憩10分)



【講演①】 M.C.BOO様 (株式会社ヘルラボニー) + 討論
～見える障害と見えない障害、アートと音楽の力～

14:10~14:40



【講演②】 尾崎 勇太様 (株式会社MBKデジタル)
パイプコーディング時代のWebアプリ開発入門
— Cloud Runで学ぶセキュアなビルドとデプロイ—

14:40~14:55



休憩(エクササイズ) リフレッシュして発想を広げます！

14:55~15:55



アイデア整理 テーマを決めて、アイデアを整理・発展させます。

15:55~16:40



ブラッシュアップ AIやデータの活用方法を考えながら、
アイデアをさらに磨き上げます。

16:40~16:55



発表&相互フィードバック チームごと発表！参加者同士で
学び合い、良いアイデアを共有します。

16:55~17:00



閉会の挨拶 まとめと今後の案内をします。

17:00~17:30



交流会(希望者のみ) 参加者同士でつながりましょう！

みんなでブラッシュアップする成果物

表の見た方

【赤文字】：成果論文公開済み 【青文字】：リンクあり

研究機関	研究内容	研究員	研究員	研究員	研究員
国立がん研究センター	がんの早期発見のためのAI活用	山田 太郎	佐藤 花子	鈴木 一郎	田中 美咲
東京大学	がんの診断精度向上のためのAI活用	佐藤 花子	山田 太郎	田中 美咲	鈴木 一郎
京都大学	がんの予防のためのAI活用	田中 美咲	山田 太郎	佐藤 花子	鈴木 一郎

【赤文字】：特定分野に特化した研究
【青文字】：がん研究全般に関する研究

【赤文字】：がん研究全般に関する研究
【青文字】：がん研究全般に関する研究

クリックすると各項目に移動します

研究機関	研究内容	研究員	研究員	研究員	研究員
国立がん研究センター	がんの早期発見のためのAI活用	山田 太郎	佐藤 花子	鈴木 一郎	田中 美咲
東京大学	がんの診断精度向上のためのAI活用	佐藤 花子	山田 太郎	田中 美咲	鈴木 一郎
京都大学	がんの予防のためのAI活用	田中 美咲	山田 太郎	佐藤 花子	鈴木 一郎

研究開発マップを
研究支援AIツールに
ブラッシュアップ！！

研究開発マップを
研究支援AIツールに
ブラッシュアップ！！

研究機関: 国立がん研究センター

研究内容: がんの早期発見のためのAI活用

研究員: 山田 太郎

研究員: 佐藤 花子

研究員: 鈴木 一郎

研究員: 田中 美咲

参加について

現地参加の方へ

- 事前に動画視聴、自己紹介用スライドの作成をお願いします。
- 当日はパソコンをご持参ください。ネットワークは会場でご準備します。

オンライン参加の方へ

聴講のみの参加も大歓迎！
オンラインで気軽にご参加
いただけます。



お申し込みはこちら



QRコード または URL
申込フォームより
お申し込みください

<https://forms.gle/E9KPvFdM7JgZKeYv8>

QOLや臨床研究、プログラ
ミングに興味がある方は
ぜひご参加ください！



あなたのアイデアが、誰かの未来を支える力になります。

一緒に、新しい一歩を踏み出しましょう！

ファシリテーター

華井 明子 先生

千葉大学 大学院情報学研究院

作業療法士として緩和ケアリハビリテーションに従事後、
京都大学大学院で支持療法の研究に取り組み学位を取得。
現在は千葉大学大学院情報学研究院で、機械学習や大規模
言語モデルを活用し、がんサバイバーの生活支援を
データサイエンスの視点から研究している。

現地参加者限定！

日清食品「完全メシ」を体験！／



33種類の栄養素と
おいしさの完全なバランスを
追求しました

詳細はこちら！

◆運営事務局(お問合せ先) : saqra.contact@ml.res.ncc.go.jp
※プログラムは変更になる場合があります。